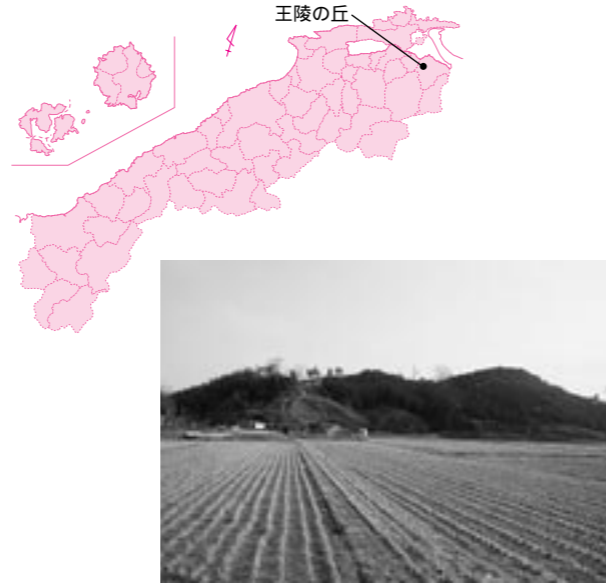


# 県内有数の大形墳墓集中地区

# 古代出雲 王陵の丘周辺 (安来市)



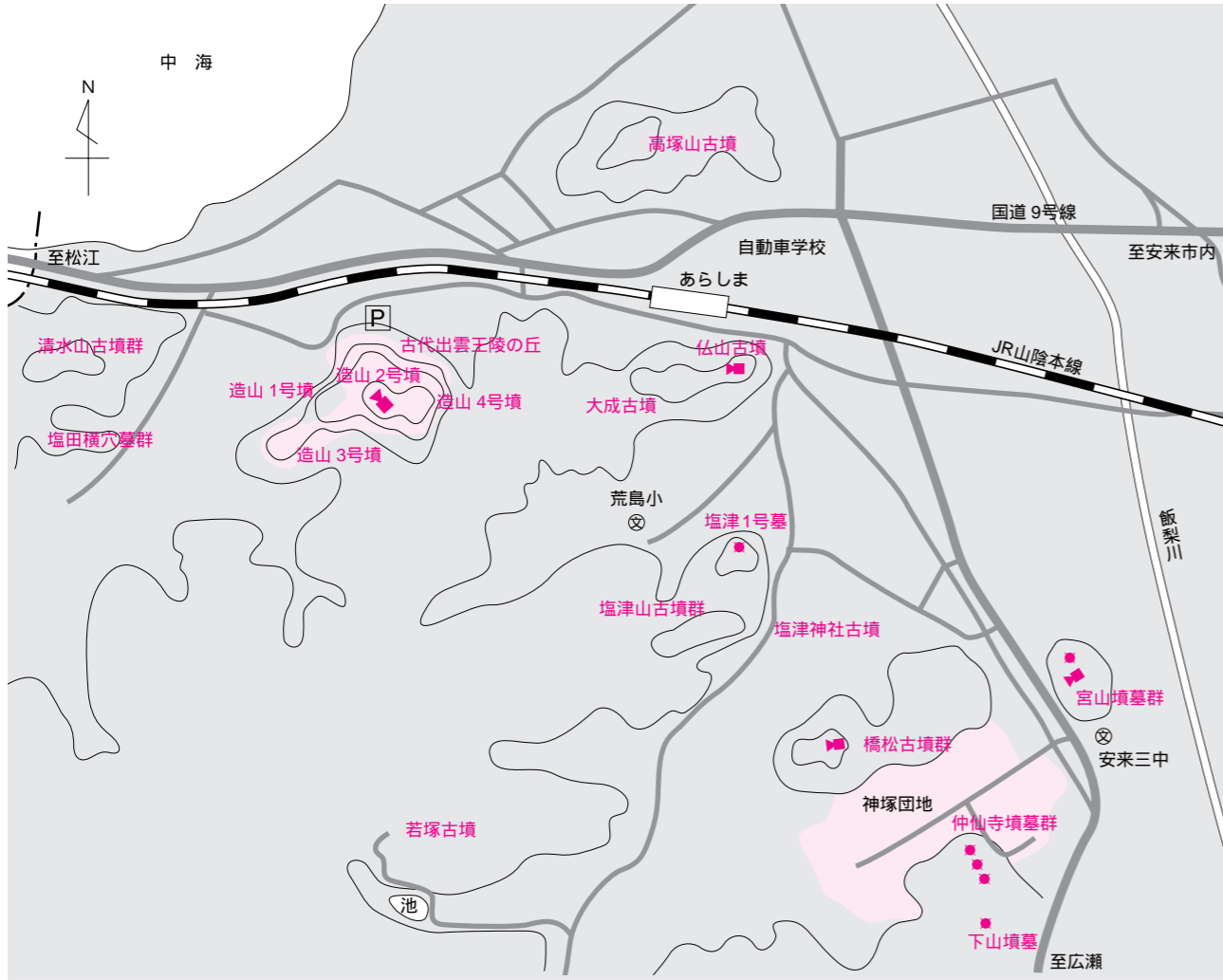
塩津1号墓



造山1号墳



古代出雲王陵の丘



塩津神社古墳



仲仙寺墳墓群



宮山墳墓群



造山3号墳

## すばらしい眺めと多彩な古墳 古代出雲王陵の丘

安来市荒島町  
国道9号線からすぐ南の丘にある、造山古墳群を中核に造られた野外古墳公園。一帯が見学コースとして整備され、古墳についての詳しい案内板も設置されている。丘の頂上から見る、中海から島根半島の眺めは絶品。春先には「たけのご掘り」も楽しめ、1年を通じていろいろな催しがある。ベンチやトイレ、広い駐車スペース完備。  
＜交通＞ J R荒島駅から徒歩5分。  
＜いにしえ＞ 3巻P22

## 日本最大級の方墳 造山1号墳

安来市荒島町  
＜指定＞ 国・史跡  
一辺が60mを超える古墳で、古墳時代前期ではおそらく日本でも最大級の方墳だ。古墳頂上にある埋葬跡は、現在埋められているので見られないが、全長7mを超える竪穴式石室で、副葬品として銅鏡や鉄剣などが出土した。出雲王陵の丘に隣接する杉林の中にある。見学はちょっと大変。  
＜交通＞ J R荒島駅から徒歩10分  
＜いにしえ＞ 2巻P38

## 整備され手軽に見学OK 造山2号・3号墳

安来市荒島町  
＜指定＞ 県・史跡(3号墳)  
「王陵の丘公園」の頂上にあり、きれいに芝が植えられ整備されているので、形もわかりやすく手軽に見学できる。2号墳は全長50m、高さ5mとかなり大形の前方後方墳で、6世紀に造られたものだ。3号墳は方

墳で、2号墳より古く4世紀に造られた。副葬品として銅鏡などが出土している。  
＜交通＞ J R荒島駅から徒歩10分

## 岩肌の美しい加工は必見 塩田横穴墓群 (日白横穴墓群)

安来市西荒島町  
「王陵の丘」の向かい側の山の斜面に造られた、古墳時代後期の横穴墓群。通称「荒島石」と呼ばれる、やわらかくて加工しやすい岩肌で直接掘りこまれた横穴墓。同じ安来市にある飯梨岩舟古墳の石室に形がよく似ている。  
＜交通＞ J R荒島駅から徒歩15分

## 新田開発で削られた大方墳 清水山古墳群

安来市西荒島町  
「王陵の丘」の谷向かいの丘陵上にある古墳群。1号墳は発掘調査によって一辺40m以上の大きな方墳であることがわかったが、江戸時代に行われた新田開発による土採りで大半が壊された。発掘調査では埴輪や土器が出土している。  
＜交通＞ J R荒島駅から徒歩15分

## 安来最古の古墳か 大成古墳

安来市荒島町  
中海の見える丘の上にある大きな方墳。全長7m以上という県内で最大級の竪穴式石室を持ち、中国製の銅鏡や鉄の刀など、多くの副葬品が出土している。島根県内でも古い部類にはいる古墳だ。  
＜交通＞ J R荒島駅から徒歩10分

## 装飾大刀が出土 仏山古墳

安来市荒島町  
荒島駅の南の山の上に、半分削られた古墳がある。詳しい形や大きさはわからないが、前方後方墳とも言われている。この古墳からは、金で飾った鬼が歯をむき出した模様の柄頭をつけた大刀が出ており、東京国立博物館に所蔵されている。  
＜交通＞ J R荒島駅から徒歩10分

## 最大級の四隅突出型墳丘墓 塩津1号墓

安来市久白町  
＜指定＞ 県・史跡  
平野に突き出した丘陵の先端頂上にある巨大な四隅突出型墳丘墓。張り出した突出部を含めると全長40mにもなり、同様の形をした墳墓の中では、出雲市西谷3号墓と競う大きさを誇る。弥生時代終りごろ(3世紀)の安来平野をまとめた人物の墓であることは間違いない。  
＜交通＞ J R荒島駅から徒歩20分

## 巨大な石室が露出 塩津神社古墳

安来市久白町  
＜指定＞ 市・史跡  
塩津神社の境内にひっそりとある古墳だが、よく見ると巨大でかなり丁寧に造ってあることがわかる。石の塊のように見えるのは「石棺式石室」と呼ばれる出雲東部に分布する特徴的な石室で、もとはこれを土で覆って小高い丘のようにした高まりがあったはずだ。石室の外側には珍しい突起があるので見てみよう。  
＜交通＞ J R荒島駅から徒歩20分

## 小さいけれどピリリと辛い 若塚古墳

安来市久白町  
塩津神社古墳のある谷の奥、さらに山を登ったところに造られた古墳。人里離れたひっそりとした場所に造るのが、古墳時代の終りごろの「はやり」らしい。横穴式石室で、奥の部屋の壁と天井は1つの岩をくり抜いて造られたすぐれものだ。  
＜交通＞ J R荒島駅から徒歩30分

## 四隅突出型墳丘墓を世に出した 仲仙寺墳墓群

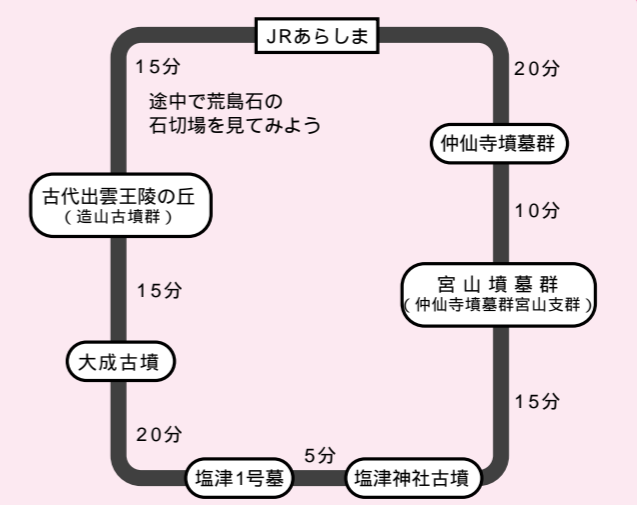
安来市西赤江町  
＜指定＞ 国・史跡  
日本で本格的に四隅突出型墳丘墓が注目されるきっかけとなった遺跡。団地の造成によって、多くはもう見ることはできないが、団地の一角に2つの墳墓が保存され整備されている。四隅が飛び出るといふこの不思議な形こそ、3世紀ごろの「出雲ブランド」を示すマ・クだったのだ。  
＜交通＞ J R荒島駅からバス5分  
安来三中下車、徒歩5分  
＜いにしえ＞ 2巻P31、7巻P7

## 四隅の突出がよくわかる 宮山墳墓群

安来市西赤江町  
＜指定＞ 国・史跡  
安来第三中学校の裏山にある墳墓群。四隅突出型墳丘墓である4号墓は、発掘調査のあと整備され、石を貼って隅が張り出した様子や埋葬施設の位置がよくわかるように復元されている。ほかにも小さい前方後方墳や住居跡も保存されている。現在の安来三中のあるところには、全長50mの前方後方墳である宮山1号墳があった。近くには大形四隅突出型墳丘墓の安養寺墳墓群もあつた。  
＜交通＞ J R荒島駅からバス5分  
安来三中下車すぐ  
＜いにしえ＞ 2巻P28

## おすすめの 見学コース

安来市荒島一帯は、弥生時代後期から奈良時代までの約700年という長期にわたる墳墓が密集する地域。とくに弥生時代後期から古墳時代前期の墓の移り変わりがわかる、全国でも珍しい場所だ。「王陵の丘」で眺めを楽しんだら、ぜひゆっくりと散歩気分での古墳めぐりをおすすめしたい。  
(所要時間は徒歩)



### おたっきー情報

荒島周辺には、石が垂直に切り立った場所が目につく。昔からの荒島石を切り出した跡だ。古墳時代も、荒島石はブランド品だった。